時間が無い社会人の方にオススメ！
時間の達人シリーズ【診断士30】

教材フル装備！
情報量そのまま！
60分講義を実現!!

仕事が忙しくて学習時間の確保が難しかった方にオススメのコースです！
従来の講義内容をそのまま１講義60分に凝縮しているので社会人の方が無理なく１次試験合格を目指せます。
科目別に受講もでき、中小企業経営・政策なら 2 時間で基礎講義をマスター！

各科目の基礎講義時間

経済学・経済政策	財務・会計	企業経営理論	運営管理
4時間	9時間	5時間	4時間

経営法務	経営情報システム	中小企業経営・政策	トータル講義時間
3時間	3時間	2時間	30時間

教室講義スタイルに
【診断士30】Webフォローを追加！

教室講義スタイル
（教室通学・映像通学 Web通信）

＋

【診断士30】
（Webフォロー）

※教室講義スタイルのWeb講義は標準装備されています。

【診断士30】Webフォローがキャンペーンで
1科目でも7科目でも

キャンペーン期間
2020年7/1(水)～9/30(水)

1,000円

アウトプットを中心に学習！
1 次経験者合格コース !!

必要な科目だけ選択して受講できる学習経験者専用の1次試験対策コースになります。
短時間で効率的な学習ができる【診断士 30】Web フォローキャンペーンの対象コースです。

今から間に合う２次合格法セミナー
7/12（日）～配信開始！

1 次試験後からスタートしても間に合う 2 次試験の合格法をご紹介します！
これから 2 次試験対策をお考えの方は必見のセミナーです！！

最新情報や講師メッセージをツイッターでお届けします！

フォローお願いします

資格の大原

令和２年度　中小企業診断士第１次試験

Ⓑ　財務・会計

【総評】

令和２年度の本試験は、問題数は24題（昨年23題）、設問数は25問（昨年25問）であった。昨年に引き続き、５肢択一の問題が１問出題されている。

出題内容は、会計分野（財務会計・管理会計等）が16問（昨年13問）、財務分野（ファイナンス）が９問（昨年12問）であった。昨年よりも会計分野の出題割合が高くなっており、例年に比べても、今年は会計分野の出題割合が高かった。未出題論点等の難易度が高い問題も出題されたが、全体的な難易度は標準レベルであったと思われる。したがって、得点すべき基本問題を確実に得点した上で、その他の問題で出来るだけ得点することができれば、合格ラインの60点以上を獲得することができたと思われる。

出題パターンを見ると、計算を必要とする問題は14問（昨年12問）であり、例年並みであった。このうち、比較的計算しやすい問題で得点を積み重ねられたかが重要となる。特に、第１問、第４問、第11問、第17問、第21問、第23問は得点していただきたい問題である。これら以外では、第２問（貸倒引当金の仕訳）、第20問（複利最終利回り）も落ち着いて考える時間があれば正解できたものと思われる。

一方、計算を必要としない問題も例年並みの11問（昨年13問）であり、これらの問題については、得点しやすい問題とそうでない問題とをしっかり区別して、得点できる問題について、いかに短時間で確実に解答できたかが重要となる。特に、第３問、第13問、第15問は得点していただきたい問題である。これら以外では、第７問（リース取引）も正解できたものと思われる。

無断転載・複製を禁じます。

【的中問題！】　一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験ー第４問

リース取引に関する記述として、最も適切なものはどれか。解答は問４へマークせよ。

ア　ファイナンス・リース取引とは、リース契約に基づくリース期間の中途において当該契約を解除することができるリース取引をいう。
イ　ファイナンス・リース取引では、借手はリース物件からもたらされる経済的利益を実質的に享受することができるが、当該リース物件の使用に伴って生じるコストを実質的に負担することとなる。
ウ　リース資産については、有形固定資産の建物、機械及び装置等の各項目の残高に含めて表示する。
エ　リース債務はすべて固定負債に表示するものとする。

本試験：第17問

リース取引の借手側の会計処理と開示に関する記述として、最も不適切なものはどれか。

ア　オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じて会計処理を行う。
イ　オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものにかかる未経過リース料は、原則として注記する。
ウ　ファイナンス・リース取引にかかるリース債務は、支払期限にかかわらず、固定負債に属するものとする。
エ　ファイナンス・リース取引にかかるリース資産は、原則としてその内容および減価償却の方法を注記する。

大原：直前対策模擬試験①ー第11問

年商24億円のＦ社の貸借対照表から、各経営比率を算出した結果について、最も適切なものを下記の解答群から選べ。解答は問12にマークせよ。

貸借対照表　（単位：百万円）

流動資産	1,040	流動負債	896
（うち売上債権	280）	（うち仕入債務	240）
（うち棚卸資産	140）	固定負債	192
固定資産	560	純資産	512
	1,600		1,600

〔解答群〕
ア　固定長期適合率　79.5％
イ　売上債権回転期間　8.6ヵ月
ウ　自己資本比率　42.0％
エ　固定資産回転率　3.4回

本試験：第11問

以下の資料に基づき計算された財務比率の値として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

【資　料】

貸借対照表　（単位：千円）

資産の部		負債・純資産の部	
現金預金	25,000	買掛金	40,000
売掛金	22,000	長期借入金	70,000
商品	13,000	資本金	50,000
建物	80,000	資本剰余金	10,000
備品	60,000	利益剰余金	30,000
資産合計	200,000	負債・純資産合計	200,000

〔解答群〕
ア　固定長期適合率は155.6％である。
イ　自己資本比率は25％である。
ウ　自己資本利益率(ROE)は30％である。
エ　当座比率は117.5％である。

無断転載・複製を禁じます。